１学期終業式の言葉

　４月５日から始まった７２日間の１学期でしたが、今日で終わります。１学期を振り返ってみると、たくさんの行事がありました。

４月に、３人の１年生を迎え、全校児童５２人の仲間で今年度をスタートしました。

５月には、バス遠足があり、低学年は、少年自然の家で石と貝で壁飾りを作り、満天星でプラネタリュームを鑑賞しました。高学年は、真脇縄文館で土器作りと、西出牧場で牛の乳搾りと餌やりを体験しました。そして、小雨の中での運動会。でも、そんな中だったからこそ体験できたこともあります。雨にも負けない赤団白団の応援合戦や団結力、滑って転んで泥だらけになりながらも立ち上がりあきらめずに最後まで走りきったみんなのたくましさ、迫力ある紅蓮花やよさこいのダンスなど見ている人にたくさんの感動を与えてくれました。

６月になり、なごみでのプール学習が始まり、うかわオリンピックもありました。目標に向かってあきらめずに頑張る姿が見られました。また、総合や社会科の学習で地域のいろいろな施設を見学したり、生活科で鵜川の町を探検し、地域のことをたくさん知ることができました。

７月は海洋教育として４年生が飼育したヒラメをみおろしの浜で放流し、優しい心を育みました。

５・６年生はのと少年自然の家で大型カヌーの体験しみんなで力を合わせて協力することの大切さ学びました。たくさんの体験を通して、みなさんは大きく成長できたと思います。

今日、おうちの方に渡す通知書には、担任の先生がみなさんの一学期の頑張りについて、たくさん書いてくれました。校長先生は皆さんの頑張りをたくさん知ることができうれしかったです。家に帰ったら、おうちの方から、たくさん褒めてもらってください。

１学期の始業式に「よいこの姿のレベルアップをしよう」という話をしましたが、３つのレベルアップの中でも、「良いことをどんどんする」のレベルアップ「新しいことに挑戦し新しい自分を発見する」の頑張りは、校長室前の掲示板に２３個の挑戦カードが掲示してあるので皆さんも知っていると思います。たくさんの人がいろいろな挑戦をしに来てくれるのを、校長先生はいつも楽しみにしていました。

二学期もまた、新たな挑戦を待っています。

さて、７月２３日から８月８日までオリンピックが開催されます。全部で３３競技　３３９種目　１１０９０人の人が参加するそうです。いろいろと話題になっているオリンピックですが、４年に１回しかみることができないので、この機会に　テレビでオリンピックを見て、いろいろな競技について知り、頑張っている選手からたくさんの感動がもらえるといいなと思います。オリンピックを楽しむ一つの方法として、「オリンピック日記」を付けてみるのもいいかと思うので、ぜひ挑戦してください。

明日から４２日間の長い夏休みが始まりますが、夏休みだからこそできる事に挑戦し、新しい自分を発見してください。２学期に一回り成長した元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。

　校長　永草いづみ